

# 日米大学図書館オープンフォーラム

テーマ=サブジェクト・ライブラリアン

1. サブジェクト・ライブラリアンって何？
  - a. 主に第二次戦争から生まれた制度
    - i. 外国の情報を提供する必要があったが、外国の出版流通とか外国の学問制度に詳しいライブラリアンがなかった、学者は狭い分野しか知らないので、出版流通とかベンダーとの交渉ができない。
    - ii. 一般的には地域研究のために、例えば
      1. ラテンアメリカ（南米）の研究
      2. 東ヨーロッパ（ソ連等）の研究
      3. 東アジア（中国、韓国、日本）研究
  - b. 他にコレクションのサブジェクト・ライブラリアンもいる
    - i. 音楽／演劇
    - ii. 法学／政府刊行物
    - iii. 建築／美術
    - iv. 地図／メディア
    - v. 理科／化学／医学等
  - c. 普通の分担と違って、サブジェクト・ライブラリアンがあらゆる責任を持つ
    - i. 選択／収集
    - ii. 発注／ベンダーとの交渉
    - iii. 目録（分類や主題だけか全部）
    - iv. レファレンス（一般レファレンスが答えられない内容）
    - v. 情報教育
    - vi. 4年生の卒業論文や大学院生の論文の指導（書誌的）
    - vii. 先生と協力して適当な資料を選択して、アドバイスをする
    - viii. ブックリスト、web page の作成
2. 当館は人数が少ないのでサブジェクト・ライブラリアンを雇う余裕が無い
  - a. リエイゾン・ライブラリアン制度
    - i. メーンの仕事（レファレンス、目録）プラス
    - ii. 幾つかの学科との連絡の役割
      1. 図書館の使命を説明する
      2. 情報教育
      3. 購読の依頼／雑誌の取り消し
      4. 予算

3. 学歴がないけどサブジェクト・ライブラリアンになりたい、どうすれば良い？
  - a. 博士号は別にいらないが、修士課程が非常に役立つ
    - i. 学問の論説がわかる
    - ii. 研究方法の錬成
    - iii. 学者の悩みが本当に理解する
    - iv. よりよくレファレンス、情報教育ができる
  - b. 勉強、勉強、勉強
    - i. できるだけ、その分野の出版物を読む／見る
    - ii. 新しいデータベースやツールがあれば、試してみる
    - iii. 学科の教員の研究成果を調べる
    - iv. 教員の研究を支えるボランティア活動（図書館関係）
  - c. 聴講、先生のゼミに参加する
  - d. 専門分野の学会に参加する
  
4. 日本でもサブジェクト・ライブラリアンを育つ環境ができる？